

高等学校における事故防止情報の活用事例

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」）では、学校での事故防止に活用できる教材や資料を作成し学校安全Webで提供しています。今回は、山形県河北町にある山形県立谷地高等学校（以下「谷地高校」）における映像資料（DVD）「熱中症を予防しようー知って防ごう熱中症ー」（以下「熱中症予防DVD」）、スポーツ事故防止ハンドブック、スポーツ事故対応ハンドブックの活用について、保健体育科教諭の佐藤先生（以下「佐藤先生」）にお話をお伺いしました。



熱中症予防DVDを視聴している様子 1

【学校紹介】

谷地高校は、山形県の中央部「雉とべに花の里」で知られる河北町にあり、令和3年度には創立100周年を迎えました。卓球やカヌー競技においては、オリンピック選手や世界選手権優勝者を輩出するなどスポーツ・文化両面で地域の期待を担っています。

【教材を活用したきっかけについて佐藤先生にお聞きしました】

生徒に熱中症の注意喚起をしなくてはいけないと考えていたこと、また、翌週にクラスマッチが開催されるため週間天気を確認したところ、気温が高くなる予報だったため、熱中症予防の教材を活用しました。

【授業の様子を取材しました】

授業を始めるにあたり、体育館の窓を全て開け換気を良くするとともに、先生自身が最初にマスクを外し、「運動中はマスクを外すこと」「会話が必要な際は距離をとること」について注意喚起が行われました。

通常の保健体育の授業の後、残り15分程で生徒全員にスポーツ事故防止ハンドブック、スポーツ事故対応ハンドブックが配布され、熱中症予防DVDを視聴しました。

視聴した生徒からは、「熱中症になる仕組みが分かったので水分補給をしっかりとしたいと思った」「熱中症の動画を見て、意識がある場合とない場合の対処法を初めて知った」「熱中症になった時、体を冷やすために水をかけるということに驚いた」「剣道部は熱中症にならないだろうと思っていたので、改めて気を付けたいと思った」などの感想が寄せられました。



熱中症予防DVDを視聴している様子2



配布されたスポーツ事故防止ハンドブック、スポーツ事故対応ハンドブックの内容を確認している様子

【資料を活用してみた感想について佐藤先生にお聞きしました】

熱中症予防DVDは、10分程度と短時間でまとめられているので、非常に活用しやすいです。また、スポーツ事故防止ハンドブック、スポーツ事故対応ハンドブックはコンパクトなサイズで、私自身、常にカバンに入れて携行していますし、生徒にも携行するよう声掛けしています。



【JSCの事故防止教材についての意見・要望等について佐藤先生にお聞きしました】

スポーツ事故防止ハンドブック、スポーツ事故対応ハンドブックは、全職員及び全生徒に配布し活用しています。フローが掲載されているので、非常に分かりやすいと思います。

野球部の顧問をしているのですが、野球部員向けの連絡メールに学校安全Web「スポーツ庁委託事業 学校でのスポーツ事故を防ぐために」のリンクを貼り、生徒自身に学校安全Webを積極的に活用してもらうよう取り組んでいます。

【取材を終えて】

谷地高校では、保健体育の授業終了時に、先生が体調不良者の有無を確認するとともに、生徒にその日の授業で学んだことを学習ノートに記入させ、生徒の知識、思考判断を把握する等きめ細かい対応をしているのが印象的でした。

JSCで提供している事故防止情報の資料の中には、今回紹介させていただいた資料のほか、季節に合わせて毎月異なるテーマで作成している教材カードなど、学校で加工しなくてもそのまま使える資料がたくさんあります。短時間の教職員研修や授業でもご利用いただけますので、是非ご活用ください。

【お願い】

JSCが提供している事故防止情報を活用している先生方がおられましたら、学校安全Webなどで共有したいと考えておりますので、担当地域事務所にご一報ください。お待ちしております。

<参考資料>

- [谷地高校ホームページ](#)
- [学校安全Web](#)
- [学校安全Web「スポーツ庁委託事業 学校でのスポーツ事故を防ぐために」](#)
- [映像資料（DVD）「熱中症を予防しようー知って防ごう熱中症ー」](#)
- [スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）](#)
- [スポーツ事故対応ハンドブック（フローチャート編）](#)
- [教材カード](#)